



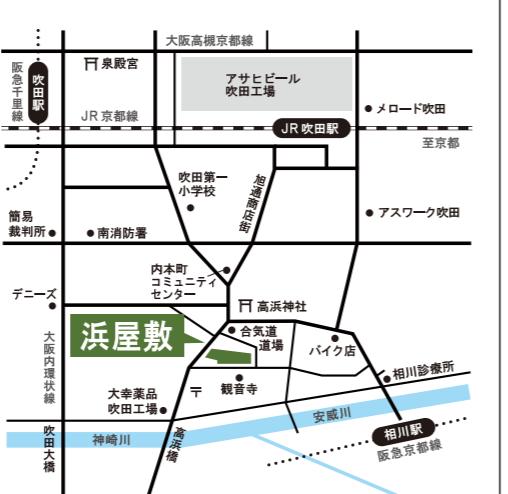
特定非営利活動法人
吹田歴史文化まちづくり協会

〒564-0025
大阪府吹田市南高浜町 6-21
(6-21 Minami Takahamacho, Saitama City, Osaka)
TEL : 06-4860-9731 / FAX : 06-4860-9725
Mail : info@hamayashiki.com



【ホームページ】 【フェイスブック】 【x】 【インスタグラム】

発行 : 令和7年5月25日 発行人 : 平山 浩美



浜屋敷フォトアワード 2024 大賞「トワイライトエクスプレス」



特定非営利活動法人
吹田歴史文化まちづくり協会

令和6年度 年次報告書

2024.4 – 2025.3
Annual Report

令和6年度 年次報告書 目 次

ごあいさつ	1
第2次 5か年重点課題の進捗状況について	
施設の管理運営事業報告	2・3
各種運営会議	
貸館事業	
観覧事業	
実施イベント報告	4・5
地域交流事業	
芸能・芸術鑑賞・演奏会事業	
学習・教養講座事業	
まちづくり調査研究事業	
共催事業	
ボランティア活動報告	6・7
活動するボランティア紹介	
吹田まち案内人事業	8
加賀眞砂子文庫	9
吹田の歴史探訪	
吹田だんじり部会	9
広報活動報告	10
主な広報活動	
ききがき吹田の民話	10
会計報告	11
貸借対照表・活動計算書	
団体情報	12
沿革	
組織	
協賛法人・団体のご紹介	13
ご支援のお願い	



ごあいさつ

いつも浜屋敷へのご理解とご支援ありがとうございます。令和6年度は浜屋敷開館21年目の年でした。浜屋敷所蔵の加賀眞砂子文庫の蔵書類を吹田市立中央図書館へ寄贈し、図書館で保管していただくことになったのは大きなニュースです。

事業面では提供型の事業から、徐々にサポートする事業を増やそうと市民団体を応援する事業として、秋に水石、盆栽、能面、らんちゅうの4グループの皆さんの展示会を開催しました。さらに、さくら日和の中で吹田市手芸協会の手毬、刺繡、機織り、組み紐の「和の手仕事ワークショップ」を行っていただきました。屋外のイベントで天候により厳しい状況での開催となるものもありましたが、賑わいは戻っています。

広報関連では、インスタグラムでの発信をイベントのお知らせにも広げてさらに魅力発信に力を入れています。

施設のメンテナンスとしては、主屋の屋根のケラバの修理を行い、年度末には畳の表替えも終了して、皆様にさらに気持ちよく使っていただける環境を整えてお待ちしております。



理事長 平山 浩美

第2次5か年重点課題の進捗状況について

第2次5か年重点課題の推進も4年目を迎え、各委員会において策定された具体策について逐次実行しています。

1. 総務企画委員会

地域小学校との連携につきまして、吹田第三小学校3年生の炊飯体験や吹田第一小学校4年生の館内見学などが実施されました。また、9月には加賀文庫の蔵書類を吹田市立中央図書館へ寄贈を行い加賀文庫のコーナーを設置していただきました。吹田市の歴史文化の情報発信のため、浜屋敷郷土史研究会（仮称）を発足させました。まちの駅ボランティアの方を中心に「昔の道具」を展示し土間の活性化に努めました。

2. 事業企画委員会

市民団体、文化団体との交流につきましては錦鱗会、盆栽協会、炉端会、能面会の展示会「浜屋敷で出会う和の文化」を開催し多くの市民の方の来館がありました。また大学との連携につきましてはボランティア活動への参加だけではなくゼミの開催による浜屋敷ボランティアとの交流を図りました。オンライン事業の「スライドでまち歩き」につきましては、ハード面における機器の整備を行い次年度も実施の方向で検討しています。

3. 広報委員会

今後の広報活動の目標として浜屋敷の認知度アップを目指し、デジタル広報の活用を推進します。具体的にはインスタグラムの投稿回数を増加し、ストーリーズの投稿も開始しました。さらに動画の投稿、XやフェイスブックなどのSNSへの投稿も積極的に行います。また、各イベントのチラシは配布先を見直してより効果的に届けられるよう検討していきます。

4. ボランティア委員会

今年度は86名のボランティア登録があり特にグリーンボランティア、喫茶ボランティア、清掃ボランティアはメンバーも充実し、浜屋敷の施設運営に多大な功績がありました。また、吹田まち案内人、まちの駅ボランティア（館内ガイド）については研修活動を活発に行い、知識の習得とスキルアップに努め、吹田市の歴史文化の情報発信を行いました。高齢化対策につきましては大学のボランティアサークルとの連携を進めていきます。

5. まち案内人委員会

令和4年度に新規加入された、まち案内人11名の方の研修も順調に進み、活動の現場での大きな戦力となっています。現在は27名となっていますが次年度は入門講座を実施し、さらに規模の拡大とスキルアップに努めます。今年度は大山崎歴史資料館の見学を行い、現地のボランティアガイドとの交流を図りました。次年度以降も他団体との交流を図ります。

施設の管理運営事業報告

施設の管理運営事業報告

各種運営会議

様々な活動を運営実行するため、各種会議を開催しました。

- | | | | |
|-------|----------|---------------|----------|
| ○総 会 | (年1回開催) | ○事業会議 | (年12回開催) |
| ○評議員会 | (年2回開催) | ○広報会議 | (年2回開催) |
| ○理事会 | (年12回開催) | ○ボランティアリーダー会議 | (年5回開催) |
| ○総務会議 | (年11回開催) | ○吹田市運営協議会 | (年2回開催) |



総会



評議員会

畳表替え

年度末の3月に和室1、和室2、和室3の畳表替えを行いました。その他の和室については令和7年度に表替えを予定しています。



畳表替え

ケラバ工事

主屋屋根の補修

主屋の屋根の老朽化に伴いケラバ部分を中心に補修をしました。ケラバとは屋根の軒先の一部で、外壁の紫外線劣化防止や雨水の吹込み防止等の役割があります。



ケラバ工事

庭園の管理と高木剪定

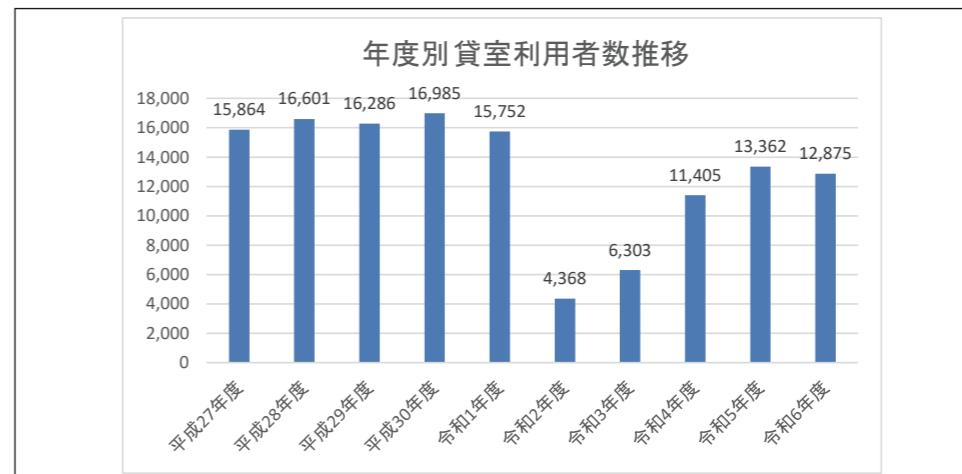
浜屋敷にはクスノキ、シラカシ、枝垂れ桜等、30本を超える高木があり、毎年9月に高木剪定を行います。庭園の管理は、浜屋敷のグリーンボランティアの方13名が月2回、低草木や果樹園、四季それぞれの草花の育成管理をしています。



高木剪定

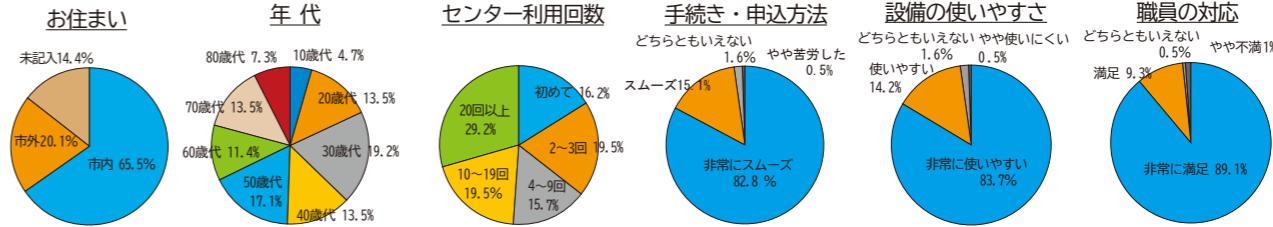
貸館事業

令和6年度の貸室利用者数は約13,000人で、前年度の数値とほぼ横ばい状況です。利用者の皆様からは「浜屋敷は趣がある」「スタッフさん、皆様だけでなく、地元の方々みんな素敵なおでかけいや地元の方々とのお喋りも楽しかったです。」とのお声をいただいています。



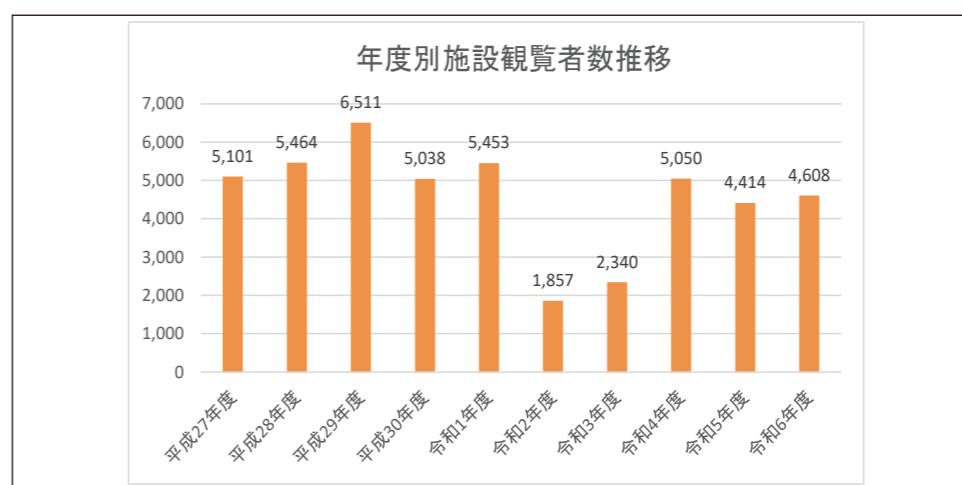
令和6年度利用者数(人)
4月 738
5月 1,697
6月 643
7月 914
8月 565
9月 822
10月 2,033
11月 1,111
12月 1,014
1月 898
2月 910
3月 1,530
計 12,875

令和6年度アンケート結果



観覧事業

団体での来館者がコロナ禍以来少なくなっていましたが、昨年末頃から増え、明るい兆しが見えて来ています。ただ個人、少数での来館者はまだ少なく、催し等で来館者を増やす取り組みを行っています。小学校からの見学は従来からの炊飯体験等、行事での来館、大学の校外セミナーの来館も継続して行われ、そこから浜屋敷でのボランティア活動にも繋がっています。



令和6年度観覧者数(人)
4月 555
5月 599
6月 328
7月 337
8月 255
9月 295
10月 370
11月 495
12月 261
1月 267
2月 522
3月 324
計 4,608

実施イベント報告

実施イベント報告

今年度は45種類の事業で延べ58回のイベントを実施し、たくさんの方に参加いただきました。その中で文化団体の活動支援および交流を促す目的で4団体による「浜屋敷で出会う和の文化」を初めて開催しています。なお、各事業は目的をもって企画していますが、さらに市民のニーズに合う事業となる工夫をしていきます。

地域交流事業

イベントタイトル	実施月	参加者
端午の節句	5月	33名
ポスター展	5月	一
春の手づくり市	5月	851名
七夕まつり	7月	102名
第8回ジャンボ将棋まつり	9月	60名
旧暦重陽の節句	10月	55名
秋の手づくり市	10月	589名
浜屋敷で出会う和の文化	11月	200名
大学連携 大学生による能登半島地震報告会	11月	25名
おもちつき	12月	250名
正月飾り	12月	一
すすはらい	12月	29名
展示学サロン 世界の自然遊び場の動き	12月	12名
七草粥のふるまい	1月	249名
新春かるたあそび	1月	23名
炊飯体験	2月	91名
墨絵ワークショップ	2月	20名
ひなまつり	3月	15名
さくら日和	3月	238名
ぽかぽかひろば	年4回	計131名
土間談議	年5回	計77名
浜屋敷研修会	8月・10月	60名



さくら日和



手づくり市



七夕まつり



ジャンボ将棋まつり



浜屋敷で出会う和の文化

学習・教養講座事業

イベントタイトル	実施月	参加者
民博楽座 日本の仮面	4月	12名
日本語の美 せんせいあのね	7月	7名
平和学習 いくさの少年期 1941～1945	8月	23名
郷土史関連講座 民話の舞台を訪ねて	10月	12名
民博楽座 中国のイスラーム教徒たち	11月	14名
日本語の美 あふれでたのはやさしさだった	12月	12名
民博楽座スペシャル ブラジルの民衆詩人と民衆版画	1月	10名
すいた昔さろん	年5回	計110名
古文書入門講座	6月・7月(2回)	計36名



大学連携
「大学生による能登半島地震報告会」



七草粥のふるまい



新春に古典芸能を愉しむ一日



すいた昔さろん



郷土史関連講座
民話の舞台を訪ねて

まちづくり調査研究事業

【オンライン事業】		
スライドでまち歩き -民話の舞台を訪ねて編-	2月	9名
吹田市立市民公益活動センター/ラコルタ(共催) まちづくり交流会	3月	9名

共催事業

吹田国際隣人グループ / SING ワールドキャンパス	7月	31名
NPO法人 すいた市民環境会議 森のクラフト	8月	8名
公益財団法人 吹田市国際交流協会 / SIFA 多文化ぶらす@浜屋敷	12月	10名

参加者アンケートの実施

新春かるたあそび

	a. イベント内容	b. 実施時間	c. スタッフ対応	d. 会場配置等
1. 大変良かった	19	14	20	16
2. 良かった	3	7	2	5
3. 普通	0	1	0	1
4. 悪かった	0	0	0	0
5. 非常に悪かった	0	0	0	0
未記入	0	0	0	0

・はじめてのかるた競技でした。とても楽しく参加できました。大学生の方々へも特に感謝です。

芸能・芸術鑑賞・演奏会事業

歴文寄席 浜屋敷で二葉らくごを聴く会	6月	60名
ファミリーコンサート	8月	47名
悠久の雅楽 東儀氏千四百年の伝承	9月	62名
新春に古典芸能を愉しむ一日 (狂言)	1月	46名
コンサートin浜屋敷 弦楽四重奏	2月	44名
浜屋敷フォトアワード 2024	2月	69作品
能楽囃子の世界 令月和風 梅花薰香	3月	56名
墨絵ワークショップ展示	3月	一



ジャンボ将棋まつり



浜屋敷で出会う和の文化

ボランティア活動報告

ボランティア活動報告



活動するボランティア紹介

浜屋敷では10のボランティアグループが、それぞれの特技・特性を活かしながら浜屋敷の活動をサポートしています。

(令和7年3月現在)

グループ名	活動内容	活動人数
喫茶	午前10時30分～午後3時30分まで開店(不定期)。ラストオーダー午後3時	16
グリーン	浜屋敷内の植栽、苗育成、果樹育成、草刈り、芝刈り	13
撮影	浜屋敷発ニュース番組「浜屋敷通信」を制作、イベントなどの記録撮影	6
吹田まち案内人	まち歩きの案内を引き受けるボランティアガイド組織	27
助っ人	協会からの協力依頼事業	11
清掃	毎朝8時30分～9時まで浜屋敷周辺や、敷地内の清掃	9
和風庭園	庭園の整備や苔育成、枯山水の手入れなど	1
ぽかぽかひろば	幼児、児童を対象としたイベント「ぽかぽかひろば」を年4回企画、実施	7
まちの駅	浜屋敷の館内ガイドや「土間談議」などのイベントの実施、協力	13
メール	浜屋敷の広報誌「吹田ノ渡シ」を2か月に1回配達協力	4



ぽかぽかひろばボランティア



撮影ボランティア



和風庭園ボランティア



喫茶ボランティア

ぽかぽかひろばボランティア

幼児・児童を対象にしたイベント「ぽかぽかひろば」を開催しています。近隣大学の学生ボランティアの方にも協力いただき、水遊びや工作など親子で様々な体験ができる企画を実施しています。

撮影ボランティア

浜屋敷で行われるイベントなどを、動画・写真に撮影、記録します。YouTubeでは浜屋敷通信で「七夕まつり」「七草粥のふるまい」などのイベントを紹介しています。今年度は、広報誌「吹田ノ渡シ」の動画版も公開しました。

和風庭園ボランティア

枯山水の池の周りに苔の養生をし、小道の整備、草刈り、落ち葉の清掃など、来館された皆様に四季折々の花々や風景を感じていただき活動しています。

喫茶ボランティア

土間で喫茶を開店しています。コーヒーやゆず茶などの飲物を販売しています。夏にはかき氷、手づくり市では、ケーキセットもお楽しみいただけます。また、来館された皆様の交流の場としても利用いただいているます。

吹田まち案内人事業

今年度の「吹田まち案内人」のガイド状況としましては、「吹田まち案内人」が自主的に企画する自主企画案件は、一年を通しキャンセル待ちが出る程盛況でしたが、外部からの依頼物件は6月から9月にかけての異常な猛暑の影響もあり依頼が殆ど無く、今までに無い状況でした。

反面、新人の研修・勉強会を行う時間的余裕が増えてようやく育成の効果が出て、多くの新人が独り立ちできるまでにレベルアップを図ることができました。

来年度は、一昨年に続き「吹田まち案内人入門講座」を開催して、会員の世代交代に応じるべく会員の増員を考えています。



自主企画 まち歩き



大学ゼミ支援(阪南大学)

吹田まち案内人 主な活動

①吹田まち案内人 活動

- ・自主企画 9件 260名参加
- ・団体依頼 16件 283名参加

②大学ゼミ支援

- ・阪南大学「吹田のフットパス」について報告会
実施日：令和6年7月14日（日）
場 所：浜屋敷



スライドでまち歩き



吹田まち案内人 研修会

④吹田まち案内人 研修会

- 実施日：令和7年3月9日（日）
場 所：京都府大山崎町
内 容：吹田まち案内人 勉強会

加賀眞砂子文庫

令和6年9月、吹田市立中央図書館で「加賀文庫」の贈呈式が執り行われました。贈呈式の会場で「吹田市の郷土史が中央図書館で市民の皆様に閲覧していただけることは大変名誉なことです。」とお話をされていました。今後、図書館において加賀文庫をデータベース化し、市民の皆様が検索できるシステムの構築と浜屋敷と共同でのイベントの開催も検討していきます。

加賀眞砂子先生は令和6年10月11日享年99歳で永眠されました。20年間にわたり浜屋敷へ多大なる貢献をしていただきましたことに感謝いたします。心よりご冥福をお祈りいたします。



加賀眞砂子文庫贈呈式にて

加賀文庫は浜屋敷【多目的室】で 8月と12月の第4土曜日を除き 毎月第2・第4土曜日午後1時30分～4時30分に開館しています。

吹田の歴史探訪

浜屋敷センターニュース【吹田ノ渡シ】の第4面では、加賀先生による連載【吹田の歴史探訪 加賀文庫】を掲載しました。こちらでは加賀文庫に収蔵されている本を解説つきで紹介しました。

令和6年度の掲載タイトル

125号	東吹田街道をゆく	128号	佐井寺観音道と千里街道の分技点
126号	古文書に見る吹田渡	129号	追悼 加賀眞砂子
127号	古証文が起こした吹田渡船賃の紛争	130号	吹田の小学校

吹田だんじり部会

活動報告

吹田だんじり部会は、吹田市指定有形民俗文化財の指定を受けている7自治会（金田町、川面町、神境町、都呂須町、西奥町、浜の堂、六地蔵）で構成され、「吹田だんじり祭」開催の推進役として活動しています。

令和6年7月28日に開催いたしました「第3回吹田だんじり祭」では、6,000人（警備会社調べ）を超える観客の皆様にご参加いただき、大いに盛り上りました。また、吹田警察等のご協力により、錦通り商店街を通行規制していただき、曳行した6基のだんじりを一堂に並べて展示し、すぐそばで見学とだんじり囃子をお楽しみいただきました。

令和7年度の「第4回吹田だんじり祭」は令和7年7月27日(日)午後5時30分より、旭通商店街をメイン会場にして周辺道路を曳行いたしますので、ルールを守つてご覧いただきますようお願いいたします。

この「吹田だんじり祭」が吹田の名物行事になるように続けてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



都呂須だんじり

広報活動報告



ききがき吹田の民話サムネイル



吹田ノ渡シ

主な広報活動

センターニュース「吹田ノ渡シ」の発行（年6回）

公的施設の他、近隣自治会などへ125号から130号を各号4,500部配布しました。また、視覚障害の方むけに点訳版も発行しています。

Webへの取り組み

X、フェイスブックでは主に浜屋敷からのお知らせを発信しています。インスタグラムでは浜屋敷の四季折々の草花や日常風景をご紹介し、ストーリーズでの催しのお知らせも始めました。今後も積極的にSNSを活用していきます。

今年度は、吹田ノ渡シ動画版を作成し、YouTubeで公開しました。

浜屋敷通信 七夕まつり/浜屋敷で出会う和の文化/七草粥のふるまい

吹田ノ渡シ動画版 126号/128号/129号/130号

記事掲載

フォトアワード2024 (登竜門/フォトコンめぐり/ピクル)
春の手づくり市 (読売新聞)
秋の手づくり市 (読売新聞)
日本語の美 あふれでたのはやさしさだった (読売新聞)

ききがき吹田の民話

1984年に発行された「ききがき吹田の民話」(文:阪本一房、切絵:すいたきりえグループ)をアナウンサーの野村朋未さんに朗読していただき、浜屋敷YouTubeチャンネルで配信しました。毎月一話づつ、全40話公開しました。朗読の後には、民話の舞台になった場所の現在の様子も紹介しています。また、第一弾から第四十弾を一本にまとめた動画も配信しました。

2024年度に公開された動画

第三十二弾 はたふり松 第三十三弾 天井の絵 第三十四弾 長柄の傘赤袋 第三十五弾 お玉まつり
第三十六弾 雲居さん 第三十七弾 狐坂 第三十八弾 茶漬の接待 第三十九弾 金の小さな地蔵さん
第四十弾 権六おどり ★全40話一気見配信

会計報告

貸借対照表・活動計算書

貸借対照表

(単位:千円)

令和6年度 貸借対照表(要約)			
資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
現金預金	8,641	預り金	242
棚卸資産	282	未払費用	2,560
その他流動資産	187	前受金	302
		合計	3,104
		正味財産の部	
		前期繰越正味財産	6,478
		当期正味財産増減額	▲472
		合計	6,006
合計	9,110	負債及び正味財産合計	9,110

活動計算書

(単位:千円)

令和6年度 活動計算書(要約)			
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
(経常収益)		(経常費用)	
受取会費	474	事業費	人件費 14,782
受取寄付等	0	受取助成金等	その他経費 10,886
受取助成金等	3,343	事業収益	人件費 6,050
事業収益	28,275	その他収益	その他経費 779
経常収益合計(A)	32,095	経常費用合計(B)	32,497
		当期経常増減額 (C)=(A)-(B)	▲402
		(経常外費用)	
		法人税、住民及び事業税(D)	70
		当期正味財産増減額 (E)=(C)-(D)	▲472
合計	32,095	合計	32,095

団体情報

沿革

平成 12 年 8 月 南高浜歴史民家再生・活用研究会発足
平成 13 年 6 月 南高浜歴史民家運営組織準備委員会設置・発足
平成 15 年 2 月 吹田歴史文化まちづくり協会 設立
平成 15 年 6 月 吹田歴史文化まちづくりセンター開館
平成 16 年 6 月 センターの愛称が「浜屋敷」に決定
平成 19 年 2 月 特定非営利活動法人 吹田歴史文化まちづくり協会となり現在に至る。
平成 25 年 6 月 協会設立 10 周年及びセンター開設 10 周年記念式典実施
平成 30 年 6 月 協会設立 15 周年及びセンター開設 15 周年記念式典実施
令和 5 年 6 月 協会設立 20 周年及びセンター開設 20 周年記念式典実施

受賞歴

平成 17 年度 (社) 日本都市計画学会関西支部 関西まちづくり賞
平成 19 年度 吹田市 文化のまちづくり推進者表彰
平成 21 年度 吹田市 第 3 回いいでしょこのまち賞 はぐくみ部門
平成 22 年度 国土交通省 手づくり郷土賞
平成 22 年度 国土交通省近畿地方整備局 第 3 回ゆめづくりまちづくり賞 優秀賞

組織

役員名簿

(令和7年3月現在)

理事長	平山 浩美	ヒッポファミリークラブ吹田 代表
副理事長	井上 一光	会社顧問
	内山 正之	株西日本出版社 代表取締役
	大形 智美	香りすと 代表
	山下 之夫	(有) AQUAS 役員
理事	小田 信子	NPO法人 すいた市民環境会議 理事
	北嶋 玉枝	吹田市ボランティア連絡会 副会長・点訳の会「円」代表
	豊田公美子	三味線の演奏家
	長岡 弘隆	長岡建築研究所 所長・吹田まち案内人
	西山 鉄雄	「まちの駅浜屋敷」駅長
	林 修二	リンクリング 代表
	樋口 象一	南町自治会 役員
	檜田 清治	NPO法人 すいた市民環境会議 理事
	福澤 靖治	「まちの駅浜屋敷」相談役
	南 知香子	企業組合 もえぎ設計
	矢上 敬子	吹田市ボランティア連絡会 会長・吹田ボランティア 会長
	那須 良太	弁護士
監事	児島 伸幸	税理士
	中牧 弘允	吹田市立博物館 特別館長
	柴田 仁	大幸薬品株 代表取締役会長
特別顧問	藤本 衛	神境町自治会 会長・吹田だんじり部会 会長

事務局名簿

事務局長 山下 之夫
事務局次長 比屋根 瑞枝
スタッフ 柴田 早紀子
大西 篤哉
阪本 武司
忍 智佐
久禮 博美
枠田 耕平
新垣 夢

令和 6 年度 協賛法人・団体のご紹介

当協会は吹田市より委託を受け、吹田歴史文化まちづくりセンター（通称 浜屋敷）を管理運営しています。歴史ある民家の特性を活かし、地域に息づく歴史・文化を継承するとともに、吹田市の文化活動の振興と交流の場となって地域の発展に資することを目指し、活動しています。そのためには各企業様のご支援ご協力が欠かせません。

令和 6 年度協賛法人・団体

アサヒビール株式会社	株式会社 生島商店	金田町自治会
川面町自治会	北おおさか信用金庫吹田支店	神境町自治会
有限会社 スイケン	NPO法人 JR吹田駅周辺まちづくり協議会	吹田エリア郵便局 吹田部会
吹田商工会議所	公益社団法人 吹田納稅協会	有限会社 セシル工芸
都呂須町自治会	西奥町自治会	浜の堂自治会
ミズカラ 株式会社	南町自治会	有限会社 ヨシミ電子機器
六地蔵自治会		(50 音順)

ご支援のお願い

会員募集

歴史と文化のまちづくりに取り組む特定非営利活動法人 吹田歴史文化まちづくり協会の活動に賛同し、協力・支援していただける会員を募集しています。令和 6 年度は個人正会員 69 名 個人賛助会員 98 名 法人賛助会員 19 社の皆様にご支援いただきました。

○年会費

個人正会員 3,000円 個人賛助会員 (一口) 1,000円 法人賛助会員 (一口) 10,000円

○お申込み

入会申込書に必要事項をご記入の上、事務局で年会費をお支払いいただくか、郵便振替をご利用ください。郵送・FAX も可。（入会申込書は協会ホームページからもダウンロードできます）詳細につきましては、事務局へお問い合わせください。

活動支援寄付

歴史と文化のまちづくりに取り組む特定非営利活動法人 吹田歴史文化まちづくり協会の活動推進のために皆様のご支援をお願いいたします。

民俗資料寄贈

当協会は、地域の民俗資料の収集を行っています。寄贈いただける民俗資料がございましたら、事務局までご連絡ください。

ボランティア募集

当協会のサポーター（ボランティア）になり、様々な活動に協力していただける皆様を募集しています。希望される方は事務局までご連絡ください。令和 7 年 3 月現在 86 名のボランティア登録があり、活動協力していただいております。